

# 大分県由布市湯布院町湯平地区の住民の皆様へ

～湯平地区の防災やコミュニティに対する意識の変化と健康状態との関連～  
で調査したアンケートデータの医学研究への使用についてのお願い～

## 【研究課題名】

被災地域住民の防災やコミュニティに対する意識と健康状態との関連

## 【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2024年7月10日、7月11日、8月2日、8月3日、8月8日に実施したアンケート調査にご協力いただいた大分県由布市湯布院町湯平地区の住民の皆様

## 【研究の目的・方法について】

〈研究の目的〉

近年、気候変動によって全国各地で人命にかかわる激しい災害が多発しています。湯平地区は自然に恵まれた中山間地域ですが、大雨による土砂災害や水害が発生しやすくなっており、住民の皆様の健康や暮らしを脅かしかねません。また、中山間地域は特に人口減少が進んでおり、湯平地区も例外ではない状況にあります。一般的に被災した地域は人口減少が進みやすく、過疎化が進む地域においては、さらに顕著であることが明らかになっています。湯平地区は、1995年から2020年までの5年ごとの平均人口減少率は-15.5%でしたが、2020年に人命を失う激しい豪雨に見舞われたにも関わらず、2020年から2024年までの4年間の平均人口減少率は-1.7%と、明らかに人口減少に歯止めがかかっています。それは住民の皆様が、2020年の豪雨以降、まちづくり協議会や自主防災会を立ち上げたり、夜間の避難訓練に参加したりして、課題解決に取り組んでいる賜物なのかもしれません。一方で、防災意識やコミュニティ意識がどのように保健行動や健康に影響を与えているかは、十分に明らかになっていません。そこで、今回、みなさんにご協力いただいたアンケート結果を用いて、湯平地区住民の防災やコミュニティに対する意識と心身の健康状態との関連を調査したいと考えています。解析の中で、激甚的な災害が発生し続けたあとも人口減少が加速しなかった要因を探るヒントが見つかるかもしれません。今回の研究は、湯平地区の地域保健活動ならびに発災時の被災地や近隣住民へ、円滑かつ的確な支援を行うための資料になること、また湯平地区に留まらず、様々な地域での公衆衛生看護や災害保健の取り組みにも役立つと考えています。

〈研究の方法〉

本研究では、アンケートにご協力いただいた皆様の属性（性別、年代、勤務地、居住自治区、居住年数、同居家族、2020年7月豪雨以降の被災経験）、2020年7月豪雨以降の身体の健康とこころの健康状態、防災意識、地域やコミュニティに対する意識などのデータを定量化し、被災経験の有無での健康状態や防災意識を比較します。また防災意識やコミュニティに対する意識について、湯平地区と湯平地区以外の地域とを比較・検討します。さらに、コミュニティに対する意識や被災後の健康状態との関係を調べ、実際の防災行動の実践に至る因子を検討したいと考えています。このような解析を通して、激甚的な災害が発生し続けたあとでも、湯平地区では人口減少が加速しなかった要因についても検討できればと思っています。

研究期間：（医学部長実施許可日）～2026年3月31日

#### 【使用させていただく情報について】

本研究に住民の皆様から得たインタビュー内容(情報)を使用させていただくことについては、本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査・承認され、大分大学医学部長の許可を得て実施しています。また、住民の皆様の全ての情報は、国の定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、特定の個人を識別できないよう加工を施したうえで管理しますので、住民の皆様のプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

#### 【使用させていただくインタビュー内容(情報)の保存等について】

インタビュー内容(情報)については論文発表後10年間の保存を基本としており、保存期間終了後は、インタビュー内容(情報)については、シュレッターにて廃棄し、パソコンなどに保存している電子データは復元できないように完全に削除します。ただし、研究の進展によってさらなる研究の必要性が生じた場合はそれぞれの保存期間を超えて保存させていただきます。

#### 【外部へのインタビュー内容(情報)の提供】

本研究で収集した情報を他の機関へ提供することはありません。

情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

大分大学医学部看護学科 基盤看護学講座 健康科学領域 教授 加隈 哲也

#### 【住民の皆様の費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、住民の皆様の費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、書籍などの文庫につながり、利益が生まれる可能性がないと

は言えませんが、万一、利益が生まれた場合、住民の皆様にはそれを請求することはできません。

#### 【研究資金】

調査には、「おおいた地域連携プラットフォーム 令和6年度 フィールドワーク支援事業」による助成金を使用しましたが、本研究の研究資金においては、大分大学医学部看護学科基盤看護学講座 健康科学領域の寄付金を使用します。

#### 【利益相反<sup>りえきそうはん</sup>について】

本研究は、上記の資金を用いて実施するものであり、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

#### 【研究の参加等について】

本研究へインタビュー内容(情報)を提供するかしないかは住民の皆様ご自身の自由です。従いまして、本研究にインタビュー内容(情報)を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、住民の皆様のインタビュー内容(情報)は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、住民の皆様の不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

住民の皆様のインタビュー内容(情報)を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

#### 【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学医学部看護学科 基盤看護学講座 教授	加隈 哲也
研究分担者	大分大学医学部看護学科4年 学生	藤並 蓮

#### 【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住 所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

電 話：097-586-5033

担当者：大分大学医学部看護学科 基盤看護学講座 健康科学領域 教授  
加隈 哲也 (かくま てつや)